

入院診療計画書

下肢血行再建術を受けられる
()様へ

2部印刷1部：患者ファイル
1部：患者様用

病名 年齢 生年月日： 症状 受持看護師 病棟

薬剤師
リハビリ担当
管理栄養士

日付	入院日(手術前)	手術日		術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目～術後13日目(退院日)
		術前	術後								
	/		/	/	/	/	/	/	/	/	/ ~ /
目標	手術の目的が理解できる 手術後の状態が理解できる		安静を守ることができる			創部の感染が起こらない 再閉塞がない			退院後の留意点が理解できる		安心して退院できる
食事	治療食が出ます	手術の当日は食事ができません 飲水は 時までできます		朝から食事(減塩食)が再開となります(状態に応じて治療食がです) (手術が午後の場合は、昼から再開となります)							
安静度	自由です		手術の6時間後よりベッドを30～45度あげることができます	歩行可能となります 朝からベッドの横に立つことができます	病棟内を自由に歩けます					自由です	
清潔	シャワー浴ができます	口に中をきれいにしてください 男性はひげを剃ってください		体を拭きにまいります ご希望があれば介助します							抜糸後に入浴が可能となります
排泄			手術室にて尿の管を入れます 手術後はベッドの上での排泄となります	尿の管を抜きます ポータブルトイレに座ることができます (午前) トイレまで歩いて行くことができます (午後)							
検査	入院日までに手術に必要な、血液検査、心電図、X線検査があります			血液検査があります						血圧脈波の検査があります	
治療		手術着に着替えます 点滴を開始します	継続点滴をします 酸素の投与を行います	点滴を終了します 酸素の投与を中止します						傷の消毒をします 抜糸します	退院できます
内服	現在内服しているお薬を確認します 21時 下剤を内服します		手術の後は医師の指示があるまで内服は中止となります	朝から内服再開になります							
リハビリ	リハビリを理学療法士に依頼します			リハビリが開始になります						理学療法士より退院後の日常生活について説明があります	
医師病状説明	入院時オリエンテーションをします		医師から手術の結果について説明します					血圧脈波について医師から検査結果の説明をします		薬剤師から薬についての説明をします	
内服指導	服薬指導をします							退院後の食事について栄養士から説明があります。		退院時説明をします	
栄養指導	お薬などのアレルギー歴がある場合は医師または看護師にお知らせください										
看護指導											